【理科１年】

<table>
<tr><th>学期</th><th>単元</th><th>学　習　内　容</th><th>評価方法</th></tr>
<tr><td rowspan="4">３学期</td><td rowspan="3">単元３　身のまわりの現象</td><td>第２章「音の世界」
〇第１節　音の伝わり方
〇第２節　音の性質
◎章末テスト</td><td rowspan="3">【知識・技能】
・小テスト
・章末テスト
・単元末テスト
・実験・観察に関するレポート　など

【思考力・判断力・表現力】
・章末テスト
・単元テスト
・実験・観察に関するレポート
・ワークシートの記述　など

【主体的に学習に取り組む態度】
・単元・評価計画シート
・ワークシートの記述　など
（個人思考・グループ思考）</td></tr>
<tr><td>第３章「力の世界」
〇第１節　日常生活のなかの力
〇第２節　力のはかり方
〇第３節　力の表し方
〇第４節　力のつり合い
◎章末テスト</td></tr>
<tr><td colspan="2">◎単元末テスト</td></tr>
<tr><td rowspan="3">単元４　大地の変化</td><td>第１章「火をふく大地」
プロローグ身近な地形や地層、岩石の観察
〇第１節　火山の姿からわかること
〇第２節　火山がうみ出すもの
〇第３節　火山の活動と火成岩
〇第４章　火山とともにくらす
◎章末テスト</td><td rowspan="3">【知識・技能】
・小テスト
・章末テスト
・実験・観察に関するレポート
・実技試験　など

【思考力・判断力・表現力】
・章末テスト
・実験・観察に関するレポート
・ワークシートの記述　など

【主体的に学習に取り組む態度】
・単元・評価計画シート
・ワークシートの記述　など
（個人思考・グループ思考）</td></tr>
<tr><td>第２章「動き続ける大地」
〇第１節　地震のゆれの伝わり方
〇第２節　地震が起こるところ
〇第３節　地震に備えるために
◎章末テスト</td></tr>
<tr><td>第３章「地層から読み取る大地の変化」
〇第１節　地層のつくりとはたらき
〇第２節　堆積岩
〇第３節　地層や化石からわかること
〇第４節　大地の変動
〇第５節　身近な大地の歴史
◎章末テスト</td></tr>
<tr><td colspan="2">◎単元末テスト</td></tr>
</table>

学習方法	【授業の進め方とポイント】 〇前時の内容に関する小テストを実施することがある（３～５分）。 〇毎時間、ワークシートを使って学習に取り組み、その後、教科書で学習内容を確認する。 〇授業中に話し合い活動を行う場合は、個人思考を行った後に、グループ思考を行う。また、グループ思考では、グループ内で意見交流をした後、自分の考えの変容をワークシートに記述する。 〇実験・観察の授業では、前時に実験計画を立て、それをもとに活動を行う。もしくは、ワークシートに書いてある実験計画に沿って行う。また、実験・観察の結果や考察は、グループごとに実験・観察用シートに記入し、その後、全体で意見を共有する。 〇毎時間、My 学習マップに、学習内容の振り返りを記入する（その授業で学習した重要語句をまとめたり、分かったこと・疑問に思ったことを自由記述したりする）。 〇章末には、その章でのワークシートや学習整理を範囲とする章末テストを実施する。 〇単元末には、その単元を範囲として作成した単元テストを実施する。 【家庭学習の進め方とポイント】 〇毎時間の授業で記入したワークシートを見返し、学習内容を定着させる。 〇毎時間の授業後に、その範囲の学習整理を解く（その日のうちにできなくても、週末には、授業進度に合わせて学習整理を進めておく）。 〇My 学習マップをもとに、章末テストの対策に取り組む（授業でのワークシートや学習整理を活用する）。 〇My 学習マップをもとに、単元末テストの対策に取り組む（テストは、授業でのワークシートや学習整理を範囲として作成する）。